

インフォメーションBOX



コミュニケーションスキルアップ講座②

コミュニケーション講座 募集中 ～コミュニケーションを解剖する～

人間関係構築の手法や教育現場での活用方法について、体験型ワークショップを通して学びます。

【日時】平成20年2月16日(土)
9:30～17:00

【講師】徳山郁夫氏
(千葉大学環境健康フィールド科学センター教授)
上杉賢士氏
(千葉大学大学院教育学研究科教授)

【対象】青少年団体指導者、子どもに係わる指導者、教員

【募集人員】40名
【参加費】1,000円(教材費、昼食代)
【申込方法】お電話でお申込みください。
(平成20年2月8日(金)締切)

第17回 ユーザーリーダーセミナー～指導法を学ぶ～ 募集中

アウトドアスキルアップ講座③「天体観測指導法」

千葉県少年自然の家は豊かな自然環境に囲まれています。特に冬場の夜空は空気も澄んでいて、様々な天体や星座の観測ができます。

天体観測のプロにご指導頂き、普段なかなか触ることのできない望遠鏡を使い、使用方法を学び、夜は土星の観測を行います。

その他にも星まつわる様々なお話しを通して、子どもたちと楽しく星空を見るためのポイントや、荒天時のプログラム紹介など体験を通して学ぶことが出来ます。

是非お問い合わせの上ご参加ください。

【日時】平成20年3月1日(土) 14:00～20:00

【講師】飯塚礼子氏
(虎ノ門天文会館 事務局 東日本天文資料センター 事務局長)

【対象】青少年団体の指導に関わっている、もしくは指導に興味のある満18歳以上の方

【参加費】1,200円(参加費にはプログラム費、夕食代を含みます。)
【申込方法】お電話でお申込みください。
【申込期間】平成20年2月4日(月) 9:00 受付開始
平成20年2月25日(月) 19:00 締切

第9回・マンフリーウィークエンドプログラム 募集中

今年度最後のマンフリーウィークエンド!!
プログラムの指導は経験豊かな当所のスタッフや、明るく楽しいボランティアが担当します。1泊2日で最大3つのプログラムに参加できます。

第9回の目玉プログラム!

[グラスアート]イギリスから直輸入の材料を使って、誰でも簡単にステンドグラスのようなオリジナルアートを作れます。

【日程】平成20年3月8日(土)～3月9日(日) 1泊2日
【対象】3歳以上中学生以下のお子さんを含む家族
【募集人員】24組(宿泊棟宿泊:1家族1部屋)

【参加費】小学生3,200円、中学生3,400円、大人(千葉市民)4,200円、大人(千葉市民以外)5,000円、未就学児(3歳～6歳)2,900円、乳児(3歳未満)500円

【申込方法】往復はがきに必要事項(①主催事業名、②住所、③代表者氏名、④参加人数:お子様の学年・年齢、⑤電話番号:自宅・携帯)をご記入の上、少年自然の家へお送りください。
(平成20年2月16日(土)必着)

※お申し込み多数の場合は抽選にて決定させていただきます。詳しくはホームページをご覧ください。か、お電話でお問合せください。

クライミングウォール 指導者養成講座 募集中

この養成講座では、使用者の自己責任と安全管理の徹底を理解して頂くこと、器具の取り扱い方や指導法について紹介します。「指導者認定証」の発行後1年間は、団体として当所のクライミングウォールを利用することができます。

第9回 平成20年2月10日(日) 13:00～15:00
第10回 平成20年3月9日(日) 13:00～15:00

【対象】クライミングウォールを利用希望する青少年団体の指導者(高校生不可)、教員

【参加費】300円(保険代)
【申込方法】お電話でお申込みください。(先着順)

絵画展 ほくのわたしのスケッチブック 募集中

千葉県少年自然の家での自然体験や生活体験の思い出を1枚のまっさらな画用紙に描いてみませんか?

【課題】「思い出を画用紙にのせて」を自由に描く
【対象】今年度、千葉県少年自然の家を利用した小学生
【規定】(1)画材は自由
(2)画用紙の大きさ「八つ切り」縦横可
【表彰】千葉県教育委員長賞、千葉県教育長賞、審査委員長賞、べんてる賞、千葉県少年自然の家所長賞、応募者全員に参加賞

【応募先】千葉県少年自然の家
(平成20年1月31日(木)必着)

※詳しくはホームページをご覧ください。か、お電話でお問合せください。

千葉県少年自然の家だより

No.34

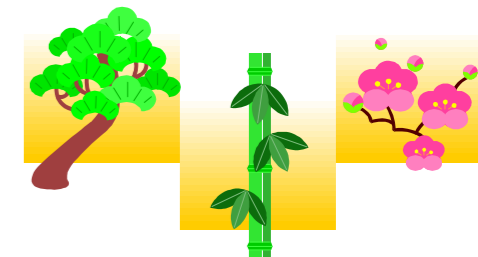
ゆくくと

1月号

平成20年1月1日発行
(毎月1日発行)

発行所/千葉県少年自然の家 〒297-0217 千葉県長生郡長柄町針ヶ谷字中野1591-40 TEL(0475)35-1131 発行人/赤澤 晃

新年のご挨拶



千葉県教育委員会
生涯学習部長 宮野 光正

新年あけましておめでとうございます。

少年自然の家もオープン以来3年目を迎え、平成19年12月現在で延べ22万人の方にご利用いただいております。

これまでに、学校利用に加えて、家族向けにマンフリーウィークエンドプログラム、ファミリーキャンプなど、施設を有効に活用した体験学習プログラムを提供し、家族の再発見の場を提供してまいりました。

また、各中学校区青少年育成委員会、各子ども会の子どもたちの宿泊体験活動などが実施されてきました。

私も、幾度か現地を訪問しておりますが、何時も学校や各青少年育成団体などの引率の方や子どもたちの元気な声が聞こえ、少年自然の家を設置したことが、市民の自然体験の場としての一翼を担っていることを実感しています。

子どもたちは、野外炊飯やクラミングウォールなど、日頃家庭生活ではなかなか体験できない事に夢中になって取り組むことで、プラスの効果として子どもたちの心に残り、人間としてのバランスのとれた成長を遂げられるものと強く期待しております。

今後も、千葉県と少年自然の家が力を合わせて、子どもたちの新たな一面を引き出せるよう施設の管理運営を充実させ、本市の青少年の健全育成に貢献できるよう努めていくことをお誓いし、年頭の挨拶とさせていただきます。



平成20年度 使用受付案内

①千葉市内で活動している少年団体 受付中

【受付期間】平成19年12月10日(月)9:00～
【申請方法】先着順で受付しております。
お電話でお申込みください。

③前項①②以外の少年団体・家族

【受付期間】平成20年3月1日(土)9:00～
【申請方法】先着順で受付します。
お電話でお申込みください。

②千葉市に居住する家族 受付中

【受付期間】平成20年1月4日(金)9:00～
【申請方法】先着順で受付しております。
お電話でお申込みください。

※詳しくはホームページをご覧ください。か、お電話でお問合せください。



TEL : 0475-35-1131

http://www.chiba-shizen.jp

主催事業・イベント報告

自然の家ファミリーキャンプ 自然の家ファミリークリスマス

12月のファミリーキャンプは、クリスマス为主题に1泊2日を16組のファミリーで過ごしました。

1日目は、夜のファミリーキャンドルで使うキャンドルに絵を描きました。子どもたちは、真剣にキャンドルの面に絵を描き、オリジナルキャンドルを作り、家族でひとつワイヤーツリーを作りました。いよいよ夜、そのキャンドルに火を灯し、揺れる光の中でクリスマスのお話や「家族」について考える時をもちました。



キャンドルの光をあびて、ワイヤーツリーがさらに美しく輝きました。

最後に、楽しいゲームと全員でのプレゼント交換をしました。

2日目は、クリスマスクッキングと題し、ダッチオーブンで料理をしました。ひとつのダッチオーブンで2家族が協力をしながら、ローストチキンを焼きました。野外料理の醍醐味ともいえるダッチオーブンは、大変好評で「購入したい!」との声まで上がりました。味も大変美味しくでき上がりました。

家族で過ごす時を大事に、毎月行なっている主催事業。1泊2日を通し、家族の会話やお子さんの良いところを発見できる場となればと思います。



四角いキャンドルの側面に思い思いの絵を描きました。



各家族が作ったワイヤーツリーとキャンドルを並べて火を灯し、みんなで囲みました。



みんなで円になって、プレゼント交換をしました。さて、何が入っているのかな?

クリスマスディスプレイ



クリスマスの定番カラーである赤は太陽の炎や永遠の命を、緑は常緑樹のような強い生命力を表します。



リースは「永遠」や「円満」を意味し、「幸せを呼び込む」と言われています。



ポインセチアのオーナメントと、手作りのキャンドル。



エントランスのディスプレイ。絵本も飾ってあります。

12月、街はクリスマスのイルミネーションで明るく照らされ、とても綺麗でした。自然の家でも手作りの小物をたくさん使った飾りつけをし、クリスマスの雰囲気を感じました。

クリスマスツリー、キャンドル、松ぼっくりのリース、クリスマス絵本、サンタクロース、ワイヤーツリー、どれも温かい色合いをしていて、クリスマスがさらに待ち遠しくなるものでした。大人も子どもも、キラキラしたかわい飾りを見つけると、皆嬉しそうにしていました。

クリスマスの日、皆さんはサンタクロースに何をお願いしたのでしょうか?



自然の家プログラムの紹介

夕暮れウォッチング



日没前後の自然の変化を観察するプログラムです。夕暮れ時の空の変化、動物の動き、風や気温の変化を観察することによって、夕暮れ時の美しさに気づき、自然観察の楽しさを知り得るきっかけとなります。

1. 観察シートと筆記用具の準備をします。
2. 「一番星」や「空が淡いピンク色か紫色に変わる」など、観察シートに記載されている項目に当てはまる変化が見られたときに、その変化が起こった順番を記入します。
3. 項目にないものでも、変化があれば記入します。
4. 一番初めに観察できた変化は何だったか、項目以外のものでどのような変化が見られたか、どんなことを感じたかをお友達や家族と話し合ってみましょう。



11月14日に自然の家で観察された夕焼けの様子。

じつと静かに日が暮れていくのを見てみると、いつもは気づかなかったことにも気づくかもしれません。



12月3日に自然の家で観察された夕焼けの様子。



まずは観察シートの10個の項目をチェックしてみましょう。

自然の家周辺情報 稲荷神社初午



長柄町山根の稲荷神社の初午の様子。

稲荷神社では、2月の最初の午うまの日（今年は2月12日）に初午祭はつうまさいが行われます。これは、全国の稲荷ふしみ社の本社である 京都の伏見稲荷神わどう社の神が和銅4年(711年)のこの日に降りたことによるとされており、全国で稲荷社をまつります。



山根の稲荷神社



長柄町山根の稲荷神社

自然の家がある長柄町の山根という地区にも稲荷神社があります。別名山根稲荷と呼ばれ、古くから商売の神様として近在の人々に慕われてきました。建物は谷津（湿潤な谷間）の一番奥深まったところにあり、普段は静かにひっそりとたたずんでいます。2月の初午の日には近隣の信仰を集めて大いにぎわいます。



長柄町山根の稲荷神社

Season Snap Shot



朝と晩は身を切るような寒さが続きます。少しだけ寒さの和らぐ昼間に、自然の家の周りを散歩してみました。

木肌や枯れ草の茶色ばかりが広がる景色の中を歩いていると、鮮やかなだいたい色が目に入ってきました。小さな木に実った小さなみかんは、太陽のように大きく見えるのでした。

